

建築用仕上塗材にアスベスト！！

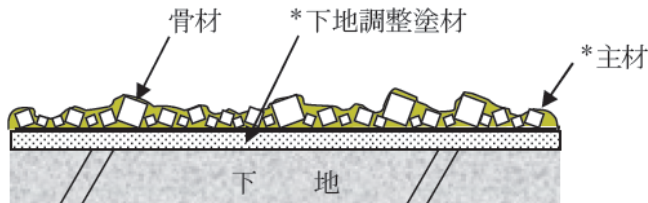
アスベスト（石綿）は様々な建築材料（以下、建材）に含まれており、アスベストの使用の有無を調査しなければならない民間建築物が約 280 万棟あると推定されています。

2017（平成 29）年 3 月に改訂された石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル【2.10 版】及びアスベスト分析マニュアル【1.10 版】（ともに厚生労働省）において、外壁に使用されている建築用仕上塗材の採取内容が追加され、分析調査の需要が高まっています。

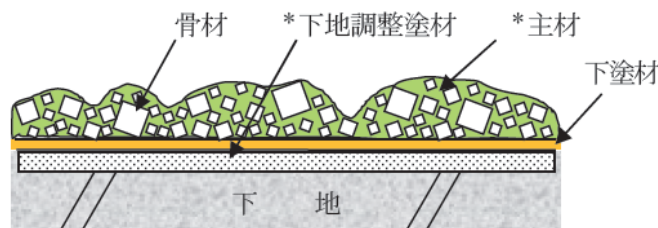
下図のように、主材及び下地調整塗材にアスベストが含有している可能性があり、試料を断面的に採取する必要があります。

なお、仕上塗材の飛散レベル分類は地域により異なりますので、各自治体にて、ご確認下さい。

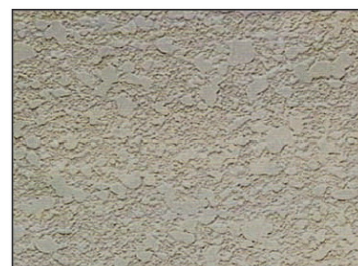
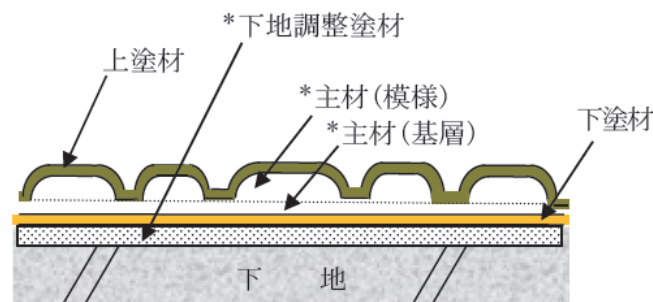
【薄付け仕上塗材：砂壁状模様の例】



【厚付け仕上塗材（上塗材なし）：吹放し模様の例】



【複層仕上塗材：凸部処理模様の例】



*アスベスト含有の可能性

※ 参考資料：石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル【2.10版】（平成29年 厚生労働省）

当社では、（公社）日本作業環境測定協会「石綿分析技術の評価事業」における A ランク取得技術者、（一社）日本環境測定分析協会における「建材中のアスベスト分析技能試験」における合格者が在籍し、高精度・高品質の分析サービスを提供しております。

詳しくは 当社、研究開発部 守屋・鈴木（敏）（フリーダイヤル：0120-01-2590 内線：378、401）まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

